

ちよっといい話

煙突の狸

ニューヨークの郊外に居住していた日本人の著名な物理学者の話である。

ある夏のことである。欧州で物理学会が開かれたので、二週間程家を留守にした。帰宅した夜、何か煙突で音がする。下から覗いてみると、閉めておいたダンパーに動物が居座っている。どうも狸らしい。家主がいない留守の家を空き家と勘違いしたらしい。

しかし、そこは心優しい学者さん夫妻のこと、招かれざる客ながら、害になることもないだろうし可愛い狸のこと、追い出すこともなからうと同棲生活をすることに決めた。

さて、しばらく狸と一緒の生活を始めたのだが、どうにも都合の悪いことが生じてきた。

狸は夜行性である。夫妻が寝入った頃、がさごそと行動を開始するのである。

夫妻も最初のうちは我慢していたのだが、どうにも寝不足になりこれ以上は耐えられなくなってしまう、やむなく狸に出て行ってもらうことにした。

煙突掃除屋さん呼び、狸を追い出してくれるように頼んだ。若し掃除屋さん、元氣良く「わかりました」と言って帰って行った。そこで問題である。この掃除屋

さん。どのようにしてこの狸を追い出したであろうか。次の中から考えて頂きたい。

①下から火を燃やして、いぶり出した。

②煙突の外から特別のおいしそうな餌を見せておびき出した。

③狸に「ここは人間の住家でありおまえの住むべき所ではない」と言って説得した。

④男の狸だったので彼女になりそうな狸を連れてきて、おびき出した。

⑤煙突を外側からどンドン叩き、騒音で追い出した。

⑥下から長い棒で突っ突きだした。

日本人の常識で考えれば①⑤⑥ぐらいが妥当な線で、②③④などは考えもつかないところであろう。そもそも、スズメバチの巢の駆除ならともかく、われわれ庶民なら狸一匹追いつすのに専門家など呼んだりしない。

さて、この掃除屋さんが用いた方法はなんと③だったのである。

この狸、最初の晩、十五分ほど説得したが、全く無視、次の晩も聞き入れられず、そして、三日目に、漸く説得に応じて、出て行くてくれたそうである。

この心温まる話、生活や文化、あるいは価値観の違いである、と簡単に片付けられないような気がする。妙に考えさせられた。

海老と少年

タイの国に海老の養殖を営んでいる家があった。「これは日本に売れる物だから」と言って子どもには食べさせなかった。

長男の少年は「このおいしそうな海老を食べる日本人はどんな素晴らしい人達なのだろう」と常々思っていた。

ある時、少年は日本に来る機会に恵まれた。そして宴会に出席することになった。

宴会には海老の料理が出された少年は故郷を懐かしみながら、もしかしら父が育てたものかも知れない海老を味わいながら食べた。

しかし、宴会が終わわり、皆が席を立って帰って行った会場を見渡して、少年は呆然とした。何と、料理の海老は半分も食べられないで残されていたのである。

呆然としている少年の傍らで、後片付けの人は、父が丹精込めて育てた海老、少年が食べられなかった海老を他の残飯とともに、手際良くバケツにまとめて処理していったのである。……

物を大切にしない、と私たち大人は良く子どもに説教するが、その私たちがどうであろうか。子どもに説教できるだけの資格があるだろうか。まず私たち大人から襟を正していかなくては、と思う昨今である。

青少年健全育成 標語の募集

十一月は、全国青少年健全育成強調月間です。都留市でも「青少年健全育成推進大会」が開催されることになっています。

この機会に、市民の皆さんから「標語」を募集します。

趣旨：…青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に陥ることなく、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。青少年の健全育成について、理解と認識を深め、日常的にこれに取り組み、参加し、行動するよう気運の高揚を図ります。

応募方法 ハガキまたはハガキ大の用紙に作品一点を記載してください。

一人三点が限度です。

応募締切 十月十二日まで
に、市民会議事務局（中央公民館内）、教育委員会に提出、小・中学生は学校に提出してください。

表彰 成人・高校生・中学生・小学生の四部門に分け、各部門ごとに、優秀・一点、佳作・二点を十一月四日の「推進大会」で表彰します。

主催 都留市青少年総合対策本部
都留市教育委員会
青少年育成都留市民会議

第三回植物観察会

今回は宝鏡寺から水辺を歩きながら植物を観察し、それから熊野神社へ行き、大杉を見たいと思います。暑い夏をのりこえた植物の語りかけるものを感じましょう。おさそいあわせてご参加ください。

なお当日雨天のときは、9月4日に行います。

日時 9月3日
午前9時30分
※バスをご利用の方は、都留市駅発午前9時10分富士吉田行きに乗車してください。

(宝鏡寺下車)
集合場所 宝鏡寺駐車場
申込・問合先 社会教育課文化振興係

文学講演会

演題 太宰治と山梨
講師 坂本 宏氏
県中小企業振興公社専務理事
元 県商工労働部長
日時 9月15日
午後1時30分 開演

会場 富士女性センター
小研修室
主催 二十一世紀クラブ
問合先 21世紀ク